

Quick Coomassie Stain

User Guide

2016 Feb

はじめに

Quick Coomassie stain は革新的な、ワンステップのクーマシー染色です。コロイダルクーマシーを取り入れた独自の組成で、ポリアクリルアミドゲル内のタンパク質をごく短時間で染色できます。

保存、有効期限

Quick Coomassie Stain は室温で保存してください。有効期限は製品ラベルに記載されています。

簡単なワンステッププロトコール

1. 容器に 25ml の Quick Coomassie (QC) Stain を注ぎます。容器のサイズ、ゲルの大きさに合わせて容量は調整してください。
2. ゲル板をはずしたポリアクリルアミドゲルを、QC stain に浸します。
3. 振とうしながら最低 15 分置きます。ゲルの状態を見て弱いバンドが確認できるまで引き続き染色します。1、2 時間染色するとよりコントラストが強くなり、一晩置くともっとも感度が高くなります。
4. ゲルを脱イオン水に移してすすいだ後、イメージングなどに持っていきます。ゲルはそのまま脱イオン水中で保存できますが、その場合、最低 1 時間は染色することを推奨します。

電子レンジを利用した手法

電子レンジを使い QC Stain を加熱すると、タンパク質バンドを発色させる時間を短縮できます。

1. QC Stain を電子レンジで加熱可能な容器に注ぎ、ゲル板を外したポリアクリルアミドゲルを浸します。電子レンジに容器を入れて、加熱します。加熱時間は 10 秒以内にしてください。
2. トレイを取り出してバンドの染色の様子をみて、弱いバンドの感度が不足する場合は室温で振とうしながら染色をつづけます。染色後脱イオン水でゲルをすすぎます。脱イオン水中にゲルを保存する予定の場合は、30 分から 1 時間染色してから保存してください。

質量分析の試料にする場合

1. 通常通りゲルを QC Stain で染色します。
2. 目的のバンドを切り出し、新しいマイクロチューブに移します。
3. チューブに 30%エタノールか 30%アセトンを 1ml 加えます。
4. 60~70°Cで 20 分インキュベートします。
5. 上澄み液を捨てて、ステップ 3 と 4 をゲル断片から色素が無くなるまで繰り返します。
6. ゲル断片を質量分析の試料に利用します。

お問い合わせ先：

株式会社 エムエステクノシステムズ

東日本： 〒162-0805 東京都新宿区矢来町 113 Tel: 03-3235-0673 FAX: 03-3235-0669

西日本： 〒532-0005 大阪市淀川区三国本町 2-12-4 Tel: 06-6396-6616 FAX: 06-6396-6644

Mail : technosales@technosaurus.co.jp

URL: <http://www.mstechno.co.jp>
